



今回の内容は…

1. 新規採用薬品紹介
2. 採用変更薬品紹介
3. 麻薬と毒薬



## 1. 新規採用薬品紹介

● オーグメンチン配合錠 250RS (GSK) // 複合抗生物質製剤 45.7 円(薬価)

(成分名: アモキシシリン水和物 250mg・クラブラン酸カリウム 125mg)

( 特徴 )

アモキシシリン(AMPC)は、

合成ペニシリンで、グラム陽性菌、陰性菌の細胞壁合成を阻害し **殺菌的な抗菌力**を示す。

クラブラン酸カリウム(CVA)は、

Streptomyces clavuligerus ATCC27064 から分離・発見された  $\beta$ -lactamase 阻害剤で、 $\beta$ -lactamase(特に penicillinase)の **抗生物質分解作用を不可逆的に阻止**する。細胞壁合成阻害による殺菌作用も有するが、CVA 自体での抗菌力は弱く、単独では抗菌剤として臨床使用することは困難である。

オーグメンチン配合錠は、

$\beta$ -lactamase 産生耐性菌に対して、CVA が  $\beta$ -lactamase に可逆的に結合し阻害することで、AMPC は失活されることなく、強力な殺菌力を示す。

AMPC 本来の感性菌に加え、有効菌種が拡大された経口用抗生物質である。



( 効能又は効果 )

〈適応菌種〉

本剤に感性のブドウ球菌属、淋菌、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス属、インフルエンザ菌、バクテロイデス属、プレボテラ属(プレボテラ・ビビアを除く)

〈適応症〉

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、子宮付属器炎、中耳炎

( 用法・用量 )

通常成人は、1 回 1 錠、1 日 3~4 回を 6~8 時間毎に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

( 取扱い上の注意 )

1. 吸湿性があるので、湿気を避けて保存すること
2. アルミ袋開封後、1 ヶ月以内に使用すること



吸湿性があるから  
アルミの袋に  
入っている!

## 2.採用変更薬品紹介

### ●ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5mL 425 円(薬価)

エスラックス静注液 50mg/5mL から

「ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5mL」へ変更します。

- ・ 冷所保存から「**室温保存**」に保存方法が変わります。
- ・ 毒薬に関しては変更がないため、**管理方法に変更はありません**。



### ●スガマデクス静注液 200mg シリンジ 3003 円(薬価)

ブリディオ静注液 200mg/2mL から

「スガマデクス静注液 200mg シリンジ」へ変更します。

- ・ バイアル製剤から「シリンジ製剤」へ変更となり  
利便性が向上します。



- ・ ブリディオンは遮光保存でしたが、スガマデクスシリンジは**開封前の保管は遮光の必要はありません**。  
**開封後は遮光で 7 日間は使用可能**です

## 3.麻薬と毒薬

麻薬：フェントステープ、オプソ内用液、モルヒネ注

毒薬：ロクロニウム注、アミオダロン錠、ジスチグミン錠

などが院内にて採用されています。

### ★麻薬と毒薬の違いをまとめてみました★

	麻薬	毒薬
表示	 丸の中に「麻」と書く (色は問わない)	  黒地に白枠・白文字で「毒」と書く (形に問わず)
管理	鍵のかかる <b>堅固な保管庫</b> に貯蔵する必要があります。 移動が難しい専用の堅固な麻薬保管庫において、 <b>施錠</b> して保管。 他の医薬品は、一緒に保管できません。	専用の <b>鍵のかかる保管庫</b> に貯蔵する必要があります。 他のものと区別し、 <b>施錠</b> して保管。 麻薬金庫には保管できません。
返却	<b>麻薬と麻薬施用表を一緒に</b> 薬局へ返却。 残薬があれば、 <b>残薬も一緒に返却</b> 。	残薬があれば、 <b>毒薬のみ</b> を薬局へ返却。

ご意見・ご要望・ご質問等ありましたら、お気軽に薬局 PHS(631/632)までお電話ください\*